

第3期城陽市子ども・子育て支援事業計画策定に関するアンケート調査

【記述回答 AIによる要約】

1. 就学前児童保護者

問11 子育てをする上で望ましい子育て環境、周囲からのサポート

■要約

地域の遊び場や施設の整備が重要視されており、特に徒歩圏内で子ども同士が交流できる場が求められています。交通や道路環境の改善に対する意見も多く、安全性と利便性を高める施策が必要とされています。

また、行政からの金銭的な補助や医療面の充実が強く望まれており、特に休日や急病時の医療サービスの改善要望が多く寄せられています。

さらに、地域における相談支援やサポート体制の充実が求められており、利用しやすい場所での支援が重要とされています。

全体として、子育て環境の改善と支援体制の強化に対する期待が高まっており、具体的な施策の実施が強く望まれています。

■項目ごとの分類

1. 遊び場や施設の整備

地域の遊び場や施設が不足しているとの指摘が多く、特に子どもたちが安全に遊べる場所や、家族が安心して利用できる施設の整備が求められています。遊び場のアクセスや設備の改善、自然環境を生かした施設の提供などが重要視されています。

2. 交通や道路環境の改善

交通や道路の安全性に対する懸念が多く、特に通学路や生活道路の整備が求められています。狭い歩道や危険な交差点の改善、車通りの多い地域での安全対策が必要とされています。

3. 金銭的補助や医療の充実

金銭的な負担を軽減するための補助や、医療サービスの充実が求められています。特に、育児に伴う経済的な負担を軽減する施策や、休日・急病時の医療体制の強化が強く望まれています。

4. 相談支援やサポート体制

地域での相談支援やサポート体制の充実が求められています。特に、子育てに関する悩みや問題に対して、気軽に相談できる環境や、必要なサポートを受けられる体制の整備が重要視されています。

5. 教育や学校関連

学校や教育に関連する意見が多く、特に保護者同士の交流や子どもたちの教育環境の改善が求められています。学校施設の充実や、保護者が参加できるイベントの増加などが提案されています。

6. 保育サービスの充実

保育サービスの質や利用の利便性を向上させることが求められています。特に、共働き家庭へのサポート強化や、保育施設の増設、保育士の質の向上などが重要な課題として挙げられています。

7. 環境や自然保護

自然環境の保護や活用に対する意見が多く、特に自然豊かな環境で子どもたちが安全に過ごせる場所の整備が求められています。地域全体で自然を守りつつ、子どもたちが自由に遊べる環境を提供することが重要視されています。

8. コミュニティや地域社会

地域社会やコミュニティの連携が不足しているとの意見があり、特に地域住民同士のサポートや交流を深めるための活動が求められています。コミュニティ活動の活性化や地域社会でのつながりの強化が重要とされています。

9. 安全対策や防犯

地域の安全対策や防犯に関する意見が多く、特に子どもたちが安全に通学できる環境の整備が求められています。防犯カメラの設置や、通学路の安全性の確保が重要な課題とされています。

10. 育児支援と家庭生活の充実

育児支援と家庭生活を充実させるための意見が多く、特に共働き家庭に対するサポートや、育児と仕事の両立を支援する施策が求められています。家庭内の役割分担や、育児に対する地域全体でのサポートが重要視されています。

問15-5 現在利用している教育・保育に対して満足している点・要望等

■要約

多くのコメントでは、保育サービスの質や環境に対する満足感が表明されており、特に子育てに関する相談がしやすい環境や、保育士が子どもたちをよく観察して個別対応してくれる点が評価されています。

また、保育園が小規模であることによるきめ細やかな保育や、保護者会やイベントの負担が少ない点も満足感の要因となっています。保育士の質に対する信頼や、子どもたちが安心して過ごせる環境が重要視されており、保護者が子どもたちの成長を安心して見守ることができる点が強調されています。

一方で、保育環境のさらなる改善を望む意見や、保育サービスの拡充を求める声も見られます。こうした意見を総合すると、保育サービスの質の向上と子育て支援の充実が、全体的に求められていることがわかります。

■項目ごとの分類

1. 相談しやすい環境

保護者は、子育てに関する心配や悩みをすぐに先生に相談できる環境に高い満足感を持っています。先生たちが親身になって相談に乗ってくれることで、保護者は安心感を感じています。小規模保育であることも相談のしやすさに寄与しており、保護者は子どもたちの成長を安心して見守ることができています。

2. 保育士の質

保育士の質に対する信頼が高く、子どもたちが安心して過ごせる環境が提供されていることが評価されています。

一方で、保育士の不足や負担が増しているという懸念もあり、保育士の増員や労働環境の改善が求められています。

また、保育士の給料を増やすべきとの意見も多く寄せられています。

3. 安心して過ごせる環境

保護者は、子どもたちが安全で安心して過ごせる環境が整っていることに満足しています。保育園の立地や設備が充実していること、保育士が子どもたちに愛情を持って接していることが、保護者の安心感につながっています。

4. 小規模保育の良さ

小規模保育園のメリットとして、細やかな保育や一人一人に丁寧に対応できることが評価されています。保護者は、子どもたちがよく見てもらえていると感じており、満足感を持っています。

5. 保護者会やイベントの負担

保護者会やイベントの負担が少ないことが、保護者にとっての大きなメリットとされています。保育園の行事に関しては、通知が遅いことや、行事が集中しているため、仕事との両立が難しいという意見もありますが、全体的に保護者の負担を軽減する取組が求められています。

6. 全体的な満足感

保護者は、全体的に保育サービスに満足しているという意見が多く寄せられています。保育士の質、保育環境、教育内容などに対する評価が高く、子どもたちが楽しく過ごしていることが保護者にとっての満足につながっています。

7. 改善や拡充の要望

保護者からは、保育サービスや施設の改善、セキュリティの強化に対する要望が寄せられています。保育料やキャッシュレス決済の導入、保育園の対応時間の延長など、具体的な改善提案も多く見られます。

8. サポート体制や支援の充実

発達に遅れがある子どもや、幼稚園への行政からの支援が必要とされているケースが挙げられています。特に、保育士の給料の増額や幼稚園の維持に対する支援が求められており、子育てを支える体制の充実が必要とされています。

9. サービスの質の向上

保育サービスの質をさらに向上させるため、保育士の充実や、カリキュラムの見直しが求められています。

また、食育や行事が充実している保育園が評価される一方で、子どもたちが自由に遊べる時間の確保が求められています。

問32 城陽市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望

■要約

多くの回答では、地域の子育て支援や教育環境に関して強い意見が寄せられています。特に、子育て支援の場としての『ひなたぼっこ』や小学校の役割が多く言及されています。利用者の間では、現状に対する改善の必要性が繰り返し強調されており、より丁寧な対応や説明が求められていることが明らかです。また、日常的な生活を支える施設やサービス(例えばスーパーなど)に関しても多くの意見が寄せられています。

一方で、経済的支援の不足や、育児と仕事の両立をサポートするための制度が不十分であるとする声が多く見られます。特に、夜間や休日の医療体制の充実を求める意見が顕著であり、これらの問題が子育て家庭に大きな負担をかけていることが指摘されています。

また、公園や遊び場の整備に対する要望も多く、子供たちが安心して遊べる環境の提供が求められています。

さらに、高齢化が進む地域での若い世代の子育て支援が不足しているという声も上がっています。認定こども園や保育園の増設、質の向上に関する要望も寄せられており、これらの施設が地域社会において重要な役割を果たしていることが示唆されています。

■項目ごとの分類

1. 保育園や幼稚園の増設や運営の改善

多くの保護者から、保育園や幼稚園の数が不足しており、増設や運営の改善を求める声が寄せられています。特に、保育施設の増設や、保育士の質を高めることが求められており、保護者は子どもたちが安心して通える環境の整備を期待しています。

2. 地域での子ども同士や親同士の交流の場が不足している

地域で子ども同士や親同士が交流できる場が不足しているとの指摘が多く、こうした場所の充実が求められています。特に、親子が気軽に集まれる場の設置や、地域コミュニティの活性化が重要とされています。

3. 公園や遊び場のアクセスや施設の充実

公園や遊び場の設備不足やアクセスの悪さに対する不満が寄せられており、これらの施設の充実が求められています。特に、広い公園があっても遊具が少ない、あるいは利用しづらいという点が強調されています。

4. 経済的な理由から子どもを持つことが難しい家庭への支援

経済的な負担が大きく、子どもを持つことが難しい家庭への支援が求められています。特に、育児に伴う経済的負担を軽減する施策や、多子世帯や低所得家庭への補助が必要とされています。

5. 交通や道路環境が子育て家庭に配慮していない

交通や道路環境が子育て家庭に配慮していないという意見があり、特に歩道の狭さや危険な交差点の改善が求められています。

また、通学路の安全性を確保するための対策が必要とされています。

6. 夜間や休日の医療体制の充実

夜間や休日の医療体制が不十分であるという声が多く、緊急時に頼れる医療機関の増設や、医療サービスの質の向上が求められています。保護者は、子どもが急病になった際に安心して受診できる体制を期待しています。

7. 働く親に対する育児と仕事の両立支援の拡充

働く親が育児と仕事を両立できるよう、制度の充実や柔軟な働き方の導入が求められています。特に、仕事と育児を両立するためのサポートや、育児に関する職場の理解が重要視されています。

8. 認定こども園の数を増やすべき

認定こども園がないことに対する意見が多く、特に保育園や幼稚園の利用が難しい場合に、認定こども園が選択肢として求められています。

また、認定こども園の整備とともに、保育士の増員や環境の整備が期待されています。

9. 高齢者が多い地域における若い世代の子育て支援

高齢者が多い地域での若い世代の子育て支援が不足しているとの意見があり、地域社会全体でのサポートが求められています。特に、若い世代が安心して子育てできる環境の整備が必要とされています。

10. 子育て支援センターの場所が不便

子育て支援センターの場所が不便であるという意見があり、よりアクセスしやすい場所に設置することが求められています。

また、センターの利用時間やサービス内容の充実も期待されています。

11. 保育園の質の向上を求める

保育士の待遇改善や保育環境の改善を求める声が多く、特に労働環境の改善や給料の増加が保育の質向上に不可欠だとの意見が寄せられています。

また、保育士の増員や施設の設備改善も求められており、全体として働きやすい環境の整備が期待されています。

12. 地域社会での育児支援活動の充実

PTA 活動や学校と地域社会の連携が不十分であり、育児支援活動が保護者に過度な負担をかけているとの意見が寄せられています。特に、PTA 活動の強制や、学校との連携不足が、育児環境に悪影響を与えているとの懸念が表明されています。

13. 子育て家庭の経済的負担を軽減する施策の拡充

子育て家庭の経済的負担を軽減する施策の拡充が求められており、特に保育料の減免や経済的支援の強化が必要とされています。

また、行政による支援制度の拡充も期待されています。

14. 子どものための遊び場や自然環境の整備

子どもたちが安全に遊べる遊び場や自然環境の整備が求められています。特に、自然豊かな環境の中で、子どもたちが自由に遊べる場所の提供が期待されています。

15. 地域での育児サポートや情報提供の場がもっと必要

地域での育児サポートや情報提供の場が不足しているとの意見があり、これらの場を増やし、充実させることが求められています。

2. 小学生保護者

問22 城陽市の子育て支援施策に関するご意見・ご要望

■要約

保護者からは、学童保育の利用料金に対する不満が多く寄せられており、特に短時間利用と長時間利用の料金を明確に分けることを求める声が強くなっています。

また、情緒障害を持つ子どもへのサポートが不足しているという指摘があり、学校での専門的な支援や対応が強くと求められています。

さらに、地域の子育て支援施設が自宅から遠く、アクセスが悪いため、利用が困難であるという声も上がっています。複数の子どもがいる家庭では、保育園や小学校の利用料の統一を希望する意見が多く、家計への負担軽減を求める声が目立ちます。

最後に、医療費の負担が家庭に重くのしかかっており、高校生まで医療費を無償化してほしいという要望が多数寄せられています。

■項目ごとの分類

1. 学童保育の利用料金

保護者からは、学童保育の利用料金に関する不満が多く寄せられており、特に短時間利用と長時間利用の料金設定が一律であることに対する不満が目立ちます。保護者は、利用時間に応じた柔軟な料金設定を求めており、家計に優しい料金体系の導入が強くと求められています。

2. 情緒障害を持つ子どものサポート

情緒障害を持つ子どもへのサポートが十分ではないとの声が寄せられており、特に学校での専門的な支援やカウンセリングの充実が求められています。保護者は、情緒的に不安定な子どもに対する適切な対応と、学校と家庭が連携して支援できる体制の整備を期待しています。

3. 子育て支援施設が遠い

子育て支援施設が自宅から遠く、利用が難しいと感じている保護者が多いことが報告されています。特に、交通手段が限られている家庭では、支援施設までのアクセスが悪いため、サービスを十分に利用できていない状況が指摘されています。これに対し、より近隣で利用可能な支援施設の設置や、交通の便を改善する施策が求められています。

4. 複数の子どもに対する利用料の統一

複数の子どもを育てる家庭からは、保育園や小学校の利用料が家庭に大きな負担となっているとの意見が寄せられています。特に、兄弟や姉妹が同時に利用する際の費用を統一し、家計の負担を軽減するための支援が求められています。

また、きょうだい割引や世帯ごとの料金設定を導入することで、複数の子どもを持つ家庭への支援を強化することが提案されています。

5. 医療費の負担

医療費の負担が家庭に重くのしかかっていることが、多くの保護者から指摘されています。特に、高校生までの医療費を無償化することや、病院での診療費用を軽減する施策の導入が強く求められています。

また、特定の病気や障害に対する補助が不十分であるとの声もあり、医療費に対するさらなる支援が期待されています。

6. 通学や道路の安全性

子どもたちが毎日通学する際に直面する道路の安全性について、多くの保護者から不安が寄せられています。特に、歩道の狭さや交通量の多い道での安全確保が不十分であるとの指摘があり、安全な通学路の確保や信号機の増設、歩行者専用道路の整備が求められています。

7. 教師や教育に関する意見

教師の教育方法や指導力に対する意見が多く寄せられており、特に教育の質を向上させるための具体的な施策が求められています。保護者からは、教師の能力開発や教育プログラムの見直し、学校全体での教育方針の一貫性を強化する必要があるとの声が聞かれます。

8. いじめや不登校の対策

いじめや不登校に対する対策が不十分であるとの意見が寄せられており、学校での対応や支援体制の強化が求められています。保護者は、いじめ防止のためのプログラムの導入や、不登校児へのきめ細かな対応が必要であると考えており、これらの問題に対する迅速かつ効果的な対策が期待されています。

9. 学校の施設や設備

学校の施設や設備に関する改善要望が多く寄せられ、特に老朽化した施設の修繕や、新しい設備の導入が強く求められています。保護者は、子どもたちが安全かつ快適に学べる環境を整えるために、教室や体育館の設備改善、IT環境の整備が急務であると訴えています。

10. PTA や保護者会活動

PTA や保護者会活動に対する負担が大きく、特に共働き家庭や育児中の家庭にとっては、活動への参加が困難であるとの声が寄せられています。保護者は、活動の内容を見直し、参加の柔軟性を高めるための工夫が必要であると考えており、代理出席やオンライン参加の導入などが提案されています。

11. 給食や食育

給食の質や栄養バランスに関する意見が多く寄せられており、特に食育プログラムの充実やアレルギー対応の改善が求められています。

また、地元の食材を取り入れた給食メニューの拡充や、子どもたちが食の大切さを学べる環境づくりが期待されています。

12. 部活動やクラブ活動

部活動やクラブ活動に関する意見があり、特に活動内容の充実や指導体制の強化が求められています。保護者は、子どもたちが安全に楽しめる環境を整えるために、指導者の質の向上や施設の充実が必要であると考えており、活動を通じて子どもたちの成長を支援することが期待されています。

13. 学力や教育水準

学力や教育水準に関する意見は少数ながら、教育の質を高めるための具体的な施策が求められています。保護者は、子どもたちが競争力のある学力を身につけられるよう、教育カリキュラムの見直しや、補習授業の充実を求めています。

14. 障がいや特別支援教育

障がいを持つ子どもへの特別支援教育が不足しているとの意見が寄せられ、特に専門的な支援や設備の充実が求められています。保護者は、障がいを持つ子どもが平等に教育を受けられる環境づくりを強く希望しており、支援員の配置や特別支援教室の充実を期待しています。

15. 行政や政策に関する要望

行政や政策に対する改善要望が寄せられており、特に子育て支援や教育政策の拡充が求められています。保護者は、具体的で効果的な施策の導入を期待しており、地域独自の取組や、より実効性のある支援策が求められています。